

病虫害発生予察情報

1 月月報

平成 25 年 2 月 13 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2013 年 1 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	9.0	-1.2	-2.1	-1.3	3.4	-1.0	0.0	0	66.7	107
中旬	8.5	-1.0	-2.5	-1.7	3.1	-1.1	60.0	375	73.9	132
下旬	10.4	0.8	-1.4	-0.3	4.4	0.3	1.5	7	82.9	120
平均	9.3	-0.5	-2.0	-1.1	3.6	-0.6				
合計							61.5	124	223.5	121

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・中旬は低く、下旬は平年並だった。

降 水 量：上旬はかなり少なく、中旬はかなり多く、下旬は平年並だった。

日照時間：上旬は平年並、中・下旬は多かった。

上旬：冬型の気圧配置が続いたため晴れの日が多くなった。5 日は本州南海上の気圧の谷の影響で曇りとなった。

中旬：冬型の気圧配置や移動性高気圧によって晴れの日が多くなった。14 日は、本州の南海上を急速に発達しながら通過した低気圧の影響で、東京（大手町）では初雪を観測し、日最深積雪 8cm の大雪となった。また、14 日の日降水量 64.0mm は 1 月として統計開始以来第 2 位、月最大 24 時間降水量 64.0mm は 1 月として統計開始以来第 3 位の記録となった。

下旬：期間のはじめは低気圧の影響で曇りや雨となったが、その後は、冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われたため晴れの日が多くなった。28 日は関東の東海上に進んだ低気圧の影響で一時雪となった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成イチゴは 12 月の低温の影響で、収穫が 1 月にずれ込んでおり、生育も緩慢となっている。促成トマトは収穫が 2 週間以上遅れている。イチゴ、トマトとも低温で加温のための燃料が多く消費されている。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウは低温の影響により生育が 2 週間～ 4 週間遅れている。一部の地域ではコマツナで黄化症や凍害が発生した。ブロッコリー、カリフラワーの冬どり栽培では、低温の影響により花蕾の肥大が不良である。キャベツ苗の生育

は緩慢となっている。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・抑制）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ（施設）

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大 島：ガーベラでうどんこ病、トルコギキョウで根腐病の発生が多かった。また、パッションフルーツでアザミウマ、ルスカスでサビダニの発生が目立った。その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。

なお、テレフォンサービスは平成 24 年 3 月で終了しました。4 月以降、本サービスの情報については防除所のホームページに「今月の防除のポイント」として掲載しています。